

2021年タイ・チュラーロンコーン大学スプリングスクールのご案内

Spring Intensive Course for Thai Language and Culture 2021

申込締切：~~2021年1月15日(金)正午~~

2021年1月29日(金)正午まで延長

【日程】

2021年3月11日(木)～3月24日(水): 講義および研修(オンライン)

【プログラム概要】

本プログラムでは、タイ王国で最も古くに設立された、伝統あるチュラーロンコーン大学によるタイ語授業および文化についての講義、タイ文化体験、タイ語母語話者との日本語も交えた交流と発表討論の機会をオンラインにて提供します。タイの言語、文化、社会、歴史等について知識を深めるとともに、高度な異文化理解・交流が得られます。

【募集詳細】

募集人数： 10名程度

募集対象： 京都大学に在籍する正規の学部生および正規の大学院生

(大学院生は、文学研究科・教育学研究科・経済学研究科・農学研究科・アジア・アフリカ地域研究研究科・経営管理大学院に所属の者を優先する)

応募条件： 異文化体験・異文化学習に意欲を持つ者

【費用詳細】

参加費用：約1～2万程度※(学費を含む)

※上記は、アジア研究教育ユニット(KUASU)補助金を差し引いた金額となります。

※為替レート、参加人数によって変動します。

※最終決定通知後に参加を取りやめる場合、キャンセル料が発生します。

(上記費用に含まれるもの)

研修費用

(上記費用に含まれないもの)

個人的な諸費用、通信費

【申込み】

申請手順:

1. プレ応募フォームに入力してください。プレ応募は、2. のオンライン申請の準備となるもので、5分程度で完了します。

<https://forms.gle/nZsbfa23NNdZZWpd6>

2. オンライン申請を行ってください。

以下の<URL>に必要事項を入力し、プログラムへの申請を行ってください。(下記3.の書類をそろえた上で、2の入力を開始することを勧めます。)

<https://area34.smp.ne.jp/area/p/nita0mjmel1pepbt9/hbbQ7J/login.html>

※ログインID及びログインパスワードはKULASISに掲載(全学生向け共通掲示板→【留学情報はこちらをClick】)

3. 以下の書類a-dをそろえ、上記のオンライン申請ページにアップロードして下さい。
 - a. 志望動機(書式自由、所属・学年・氏名を明記のこと、A4X1枚程度)
 - b. 誓約書(自署つき)
 - c. パスポートの顔写真ページのコピーまたは英文在学証明書
 - d. 成績証明書

募集要項、誓約書は下記 URL からダウンロードしてください。

<アジア研究教育ユニット> <http://www.kuasu.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

<KULASIS> <https://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/>

全学生向け共通掲示板→【留学情報はこちらを Click】

【選考】 書類審査および面接によりおこなう。

【募集・選考スケジュール】

~~申込締切：2021年1月15日（金） 12:00（正午）~~

申込締切：2021年1月29日（金） 12:00（正午）

~~面接：2021年1月20日（水） 12:15-12:45（オンライン）~~

~~16:30-17:00（オンライン）~~

~~1月21日（木） 12:15-12:45（オンライン）~~

~~16:30-17:00（オンライン）~~

面接：2021年2月3日（水） 12:10-12:45（オンライン）

16:30-17:00（オンライン）

2021年2月4日（木） 12:10-12:45（オンライン）

16:30-17:00（オンライン）

上記日程のうち1人 10分程度

オリエンテーション：2021年2月5日（金）12:10-12:50（オンライン）

（出席必須）

タイ語会話教室および発表準備演習：2021年2月8日から2月12日（参加必須）

【備考】

- ・本プログラムは以下の機関・事業により一人当たり約3万円の援助を受けて行われます。
（1）京都大学アジア研究教育ユニットによる支援
- ・同時期に実施される他プログラムとの併願を認めない。
- ・国際高等教育院附属 日本語・日本文化教育センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」（2020年度後期：月曜2限）を受講した上での参加を推奨している。
- ・自然災害等その他事由により、プログラムが中止になることがあります。
- ・本プログラムの受講は、文学研究科・文学部提供の多言語多文化科目「タイ研修」（アジア研究）の単位に充当される場合があります。
- ・本プログラムは「開かれたASEAN+6」による日本再発見-SENDを核とした国際連携人材育成から京都大学アジア研究教育ユニット、京都大学重点戦略アクションプランによって引き継がれた支援体制のもとでおこなわれます。

【本件照会先】 国際高等教育院 河合 淳子

学際融合教育研究推進センター 西島 薫

ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（短期留学プログラム東アジア代表アドレス）